

「教育ボランティア ニュースレター」は年2回発行しています。第3号ができましたので、お届けいたします。

教育ボランティア ニュースレター

第3

発行日 平成20年10月

おかげさまで、
学生たちの学びがさらに深まりました

2つの授業で

6月30日午後、「基礎看護技術演習Ⅲ」に、36名の学内ボランティアさんにお越しいただき、2年生79名の学びを支えていただきました。

学生が「看護者」としてボランティアさん扮する「患者さん」にに対し、お話をするという設定で学習しました。

ボランティアさんには、'糖尿病で教育入院をしている患者さん'、'脳梗塞による尿失禁のある女性の患者さん'の2つの役をやっていただきました。事前のオリエンテーションがあるとはいえ、すぐにこのような患者の役割を果たすのはなかなかむずかしいもの。しかし、そこはみなさまの豊かな

人生経験をもって補っていただいたように思います。ご自身の患者体験からお話くださったり、沈黙が走ったときには言葉を継いでくださったりと、あたたかな配慮のもと、授業が展開しました。

学生たちは緊張しつつも会話を続け、病院でのやりとりの一端をイメージし、体得することができました。



また7月23日には、「健康生活支援技術演習」に29名のボランティアさんご参加くださいました。子育て、妊娠期の過ごし方、生活習慣病予防、健康づくり、介護予防などのテーマで学生たちが「健康教育」の発表を行い、ボランティアさんから率直な感想やご講評をいただきました。人に何かを伝えることの難しさと楽しさを学びました。ありがとうございました。

* * * * *

GPシンポジウムのお知らせ

神戸市看護大学では、平成18年度より、「地域住民と共に学び共に創る健康生活」という取り組みを行ってまいりました。

この取り組みは、文部科学省の平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採択されています。

このたび、その成果報告も兼ねて、つぎのようなシンポジウムを開催することにしました。

平成20年度神戸市看護大学

GPシンポジウム

「地域住民と共に学び
共に創る健康生活」

日時：平成20年11月29日(土)
13:00~17:00

場所：神戸研究学園都市
「ユニティ」セミナー室4

基調講演

「大学と地域の連携による健康支援」
小山田恭子 文部科学省専門官

成果報告 高田早苗 本学教授
シンポジウム

「住民による教育支援と
学生による地域支援の融合」
教育ボランティアの立場から
学生の立場から
教員の立場から
地域行政の立場から 各代表

お申込は、
本学現代GPシンポジウム係まで
FAX794-8086 電話794-8080

どうぞふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。